



### 会長就任のご挨拶とお願い 寺西 啓三(20期)

この度の8月のOB・OG会総会で、昨年9月に亡くなられました、赤鹿前会長(3期)の後任に選出いただきました、寺西でございます。

赤鹿会長には、各年代の会員の皆様の要望に応え、1993年に設立されました再生OB・OG会の会長を、設立当初より、お亡くなりになるまでの20年間に永きに渡り、文字通り終生、会長としてご指導いただきました。

我が寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会は、高校在学時にハンドボール部として在籍された、卒業生を中心に、73年の歴史と870数名の会員を数える会となっています。

この間の現役時代には、女子部の活躍を中心に、インターハイ優勝4回(13回出場)、男子部のインターハイ出場4回と言う、輝かしい歴史を飾りましたが、近年は私学全盛(大阪)となり、全国大会、近畿大会への出場も、難しい時代となっています。

しかし、今も、昔も、現役在校生は、ハンドボールと学業の両立と言う目標に、苦しみ、悩みながらも、頑張っている姿は、変わりません。

この様な状況下、OB・OG会では、①現役部活の支援、②会員相互の融和と親睦、③ハンドボールの普及活動を、活動目標としていますが、現状、どれも満足のいくものとはなっていません。

ハンドボール卒業生は、卒業と同時にハンドボールになじむ機会が極端に少なくなってしまうのが、現状です。

しかし、寝屋川ハンドで共に苦労した同期、先輩、後輩、顧問の先生との繋がり・縁は、その後の人生で、生活の根幹部分ではありませんが、時に触れ、折に触れ、人生のビタミン材となり、その経験は、貴重で有意義なものです。

この貴重で有難い集まりの組織であります、OB・OG会を、永遠に続ける為にも、会員皆様にせん越ではありますが、お願いがあります。

それは、会員間にはゼネレーション(世代)の幅がありますが、若くて体力のある人は、技術・心の伝承に向けて、現役と共にグラウンドでのプレイの参加であり、その後の人生で、時間的に、経済的にもゆとりのある方は、経済的支援・参加です。

特に活動の基盤であります経済的支援(会費)では、現状ではやはり現役時代、華やかに活動されました3~20期の方が、年会費の納入者の60%弱を占めています。

今後も、「寝屋川のハンドボール」が無くなることなく、又の全国的活躍、活発で、活力のある「部活」として継続していくためにも、今一度、会員皆様のご協力、よろしくお願い申し上げます。

### 第21回 総会報告

2012年度のOB・OG会総会が、8月17日(土)、盆サマーハンドボールに先駆けて、午後3:00からセミナーハウス(旧、北水会館)で開催され、下記の議題が討議、承認されました。

#### [ 議題 ]

1. 20期(平成24年度)活動報告
2. 20期(平成24年度)会計報告
3. 20期(平成24年度)監査報告
4. 21期(平成25年度)活動計画(案)
5. 21期(平成25年度)予算(案)
6. 21期(平成25年度)役員体制

#### 第20期(平成24年7月1日~平成25年6月30日) 活動報告

日時	活動	会場	参加者
2012 7 1 土	会報発行	寝屋川高校・セミナーハウス	……
" "	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	8名
8 18 土	第20回OB・OG会総会	寝屋川高校・セミナーハウス	18名
" "	盆サマーハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	62名
10 6 土	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	2名
11 23 土	3代目顧問望月伸三先生を語る会	ホテル・アゴラ大阪守口	38名
12 8 土	会報発行	寝屋川高校・セミナーハウス	……
" "	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	4名
2013 1 12 土	正月ハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	55名
" "	相談役会	寝屋川高校・セミナーハウス	5名
" "	新年会	寝屋川高校・セミナーハウス	58名
2 17 日	相談役会	寝屋川高校・セミナーハウス	5名
3 23 土	役員会	ホテル京阪京橋	11名
5 18 土	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	18名

#### 第21期(平成25年7月1日~平成26年6月30日) 活動計画(案)

日時	活動	会場	参加者
2013 7 13 土	会報発行	寝屋川高校・セミナーハウス	……
" "	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	8名
8 17 土	第21回OB・OG会総会	寝屋川高校・セミナーハウス	名
" "	盆サマーハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	名
10 5 土	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	名
11 30 土	会報発行	寝屋川高校・セミナーハウス	名
" "	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	名
2014 1 11 土	正月ハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	名
" "	新年会	寝屋川高校・セミナーハウス	名
3	06期生(2013.3月卒業)OB・OG会入会式	寝屋川高校・セミナーハウス	名
5 17 土	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	名

平成24年度収支報告書 (H24. 7. 1~H25. 6. 30)			
(単位:円)			
項目	金額	摘要	
<b>(収入の部)</b>			
前期繰越金	274,846		
会費収入	328,000	24年度 @5,000×57名 @10,000×2名 @3,000×1名 25年度 @5,000×4名	
特別会費	16,000	ナイターハンド会費 @500×18名 新年ハンド会費 @500×14名	
雑収入	75	貯金利息75円	
計	618,921		
<b>(支出の部)</b>			
事業費	66,398	ナイター会費 36,986円、入会式費用 1,780円 新年ハンド会費 27,632円	
援助金	50,000	現役援助金他	
通信費	123,590	各種案内郵送料	
会議費	0		
運営費	39,759	会報作成費他 32,539円、 HP運営費 7,220円	
備品消費	592	事務用品	
雑費	15,555	郵便振替手数料他	
慶弔費	5,764	弔電2人	
記念事業積立金	20,000		
計	321,658		
差引剰余金	297,263		
<b>記念事業積立金</b> (単位:円)			
項目	金額	摘要	
前期繰越金	800,000		
繰入金	20,000		
取崩金	0		
翌期繰越金	820,000		
以上、平成24年度の収支報告を致します。 寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会 会計 井上 武久 ㊟			
上記の収支報告書は、平成24年度の収支の状態を正しく表示していると認めます。 平成25年7月31日 寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会 会計監査 今堀 太逸 ㊟ 吉田 雅子 ㊟			





# 寝屋川クラブ会報

平成25年8月17日

## 平成25年度予算書

(H25. 7. 1~H26. 6. 30)

(単位：円)

項目	金額	摘要
<b>(収入の部)</b>		
前期繰越金	297,263	
会費収入	350,000	25年度@5,000×70名
特別会費	15,000	
雑収入		
<b>計</b>	<b>662,263</b>	
<b>(支出の部)</b>		
事業費	68,000	ナイター・新年ハンド会費他 66,000円 OB・OG会入会式 2,000円
援助金	100,000	平成25年現役援助金50,000円 その他援助金 50,000円
通信費	128,000	各種案内郵送料
会議費	0	
運営費	75,000	会報作成費・HP維持費他
備用品費	5,000	事務用品他
雑費	19,200	振替手数料、インターハイ広告料他
親睦会活動費	200,000	
記念事業費繰入金	20,000	
<b>計</b>	<b>615,200</b>	
差引剰余金	47,063	

- |      |              |              |
|------|--------------|--------------|
| 〃    | 河野 あゆみ (63期) | 東別府 朋子 (63期) |
| 〃    | 四田 裕則 (63期)  | 山里 順也 (63期)  |
| 〃    | 山本 幸夫 (63期)  | 嶋戸 美音 (64期)  |
| 〃    | 穂谷 美緒 (64期)  | 樋渡 梨奈 (64期)  |
| 〃    | 湯川 広樹 (64期)  | 青木 達哉 (64期)  |
| 〃    | 新本 崇順 (64期)  | 田村 佳太 (64期)  |
| 〃    | 井上 貴子 (65期)  | 山崎 史帆 (65期)  |
| 〃    | 篠原 英里子 (65期) | 吉本 実奈美 (65期) |
| 〃    | 西垣 智哉 (65期)  | 妹尾 直樹 (65期)  |
| 〃    | 富岡 浩紀 (65期)  |              |
| 会計監査 | 今堀 太逸 (21期)  | 吉田 雅子 (29期)  |
| 相談役  | 津熊 美智子 (18期) | 大森 孝志 (31期)  |
| 〃    | 田中 裕一 (31期)  |              |

頑張れるはずです。

これからも、人生の優勝に向かって、夢の実現に、現役、OB・OGも寝屋川高校に集いましょう！

正月ハンドには、一人でも多くのOB・OGの方々に集っていただき、一緒に語り合えることを、楽しみにしております。

### 2014年 新年正月ハンドボールのご案内

現役男女が元気です

10~30代の若手OB・OG皆さんの、

多数の参加をお待ちしています

今年度も、新年恒例の「正月ハンドボール」を、下記のとおり開催します。

現役とOB・OGの親睦試合、セミナーハウスでの温かいトン汁・おしるこ、顧問の先生との歓談、恒例のビンゴゲームによる新年会を行います。

近年、現役の人数が増えると共に、元気です。

8月の盆サマーハンドボールとともに、年2回の現役との親睦試合・懇親会、OB・OGの皆さんの参加により、盛り上がった新年会となりますよう、同級生・先輩・後輩に声をかけ、お互い誘い合い、1人でも多くの方の参加をいただき、楽しい激励・交流会にしたいと思います。

日時：2014年1月11日(土)

親睦試合：12:00~14:30 ハンドボールコート

新年会：15:00~16:30 セミナーハウス(旧、北水会館)3階  
会費：500円

2次会：がんこ寿司・寝屋川店

<雨天の場合>

新年会：12:00~14:00 セミナーハウス(旧、北水会館)3階

### 2013年 盆サマーハンド 報告

副会長 小合 省三(24期)

今年も、ハンドボール部、OB・OG会恒例の、盆サマーハンド・懇親会が8月17日(日)、OB・OG会総会終了後、現役を含む79名の参加により開催されました。

最初に、現役とOB、OGとの、親睦試合を行いました。

その後、新しいお楽しみとして、センターラインからゴール前の赤いコーン(工事の時の

注意用の三角錐ポール)を目指して、ボールを当てるゲームをしました。

現役、OB・OGとも一生懸命投げましたが、一巡目では赤いコーンに当たりません。

2巡目、3巡目から、赤いコーンに当てる人が増えてきました。

やはり寝屋川高校生は、集中力が違うなと思いました。

また、当てた人には豪華な景品(100円ショップが多い?)の中から、順番に選んで持って帰っていただきました。

その後、食事会を行い、和やかな雰囲気、現役とOB・OGの交流を行いました。

最後は、現役の方から、これからの抱負・夢を語っていただき、終了いたしました。

私は、寝屋川高校生の、誠実で真摯にハンドボールに取り組んでいる態度に、胸が熱くなりました。

人生は、いつも順調ではありません。

苦しいこと、悲しいことがあっても、夢をもっていれば、きっと

#### [平成25年度役員]

- |        |               |              |
|--------|---------------|--------------|
| 会長     | 寺西 啓三 (20期)   |              |
| 副会長    | 菊地 和代 (21期)   | 小合 省三 (24期)  |
| 幹事長・会計 | 井上 武久 (23期)   |              |
| 幹事     | 谷村 千津子 (18期)  | 木村 慶次 (18期)  |
| 〃      | 小森園 多恵子 (22期) | 古本 まみ (22期)  |
| 〃      | 甫田 裕佳里 (29期)  | 久木 久美子 (33期) |
| 〃      | 大塚 万里子 (33期)  | 稲葉 清志 (43期)  |
| 〃      | 谷 和哉 (44期)    | 中東 大輔 (58期)  |
| 〃      | 北崎 千咲子 (59期)  | 田村 英明 (59期)  |
| 〃      | 三枝 智子 (61期)   | 大波多 千尋 (61期) |
| 〃      | 西岡 笑子 (62期)   | 佐竹 友貴 (62期)  |
| 〃      | 立山 茜 (62期)    | 藤澤 美穂 (63期)  |





## 訃報連絡

① 高校7期 桑原 芳子 (2013年7月30日逝去)

会報では故人の方を偲ぶ、現役時代の活躍の状況・エピソード、卒業後の模様、人柄が偲ばれる思い出話を、募っています。次回発行の会報で、掲載させていただきます。送り先は、今回の会報に同封の別紙「会員だより」を、返信用封筒(事務局・20期寺西 090-5887-8777)でお送りいただくか、下記メールアドレスにお寄せください。

枚方市星丘4-12-8 寺西 啓三  
kanri@neyagawahandball.net



## 現役者の活動報告

男子 … 顧問 堀川 美子

### 第68回高校秋季総合体育大会(オープントーナメント方式)

8月6~11日

- 1回戦 ○ 寝屋川 16 — 10 大阪市立
- 2回戦 ○ 寝屋川 18 — 14 天王寺
- 3回戦 ● 寝屋川 17 — 17 枚方  
7mスローコンテスト 1 — 4

### 第65回高校新人大会、兼、第37回全国選抜予選大会

10月13日~

[北ブロック大会・リーグ戦]

- 寝屋川 28 — 16 刀根山

○ 寝屋川 39 — 3 山田

[北ブロック大会・トーナメント]

- 1回戦 ● 寝屋川 18 — 22 大商学園  
(中央大会出場ならず)

少し、ハンドボールがわかりかけてきた、3年生。しかし、全員が引退、受験勉強に、全力を注ぐことになりました。夏まで続けると、もっとハンドボールが理解でき、後輩たちが学ぶ機会を与えられるのにと、残念に思いますが・・・

新チームは、1年時より意欲的で、且つ能力も高く、また、自主練にも熱心で、ディフェンス力・オフェンス力共に、どんどん伸びてきました。

夏の秋季大会では、大阪市立・天王寺高校、それに勝てば、枚方高校、大体大浪商高校の枠でした。

対大阪市立、天王寺戦では、前半には、相手を攻めあぐねさせるディフェンスからの速攻や、セットからのサイド、ロング、ポストシュートで点を重ね、大量得点をあげました。

しかし、後半になると「今までの元気は、どこへやら？」

結局、後半はすべて1・2点負けていますが、前半の大量リードで、勝つことができました。

枚方戦は、前半から接戦でしたが、2点差で勝っていました。

後半になると、メンバーそれぞれが失敗するのを恐れ、シュートを狙わずパス、パスミス、シュートミスと、どんどん消極的になってしまい、結局同点で7mスローコンテストになりました。

そこでも、「入るかなあ」と、気弱な言葉を聞きました。

案の定、キャプテン1人しか決められず、負けてしまいました。

これが、寝屋川の、今の男子なのかなあ？部員たちは、悔しいと言って大泣きでした。

「何で泣く？自分たちに欠けている課題が見つかったのだから、泣いてる場合か?!、それよりも、その課題をどう克服するかを考える！」と、激をとばし、「次の新人戦めざして、また一から頑張ろう！」と、部員たちは決意しました。

その後、順調に練習を重ね、多くの学校と、練習試合を行いました。

ベスト4のチームとの練習試合でも、「力がついたのかな」と思わせるような、試合運びができていました。

しかし、9月末からの前期中間考査、続く修学旅行と、3週間もともな練習ができなかったのは大きく、試合感覚がずれてきているように感じました。

新人戦のリーグ戦では、刀根山・山田高校ともに圧勝でしたが、その後の練習でも、何か気持ちの点で引き締まったものを、感じませんでした。

対大商学園では、UPの時から相手の方が雰囲気がいいなど、感じました。

前半立ち上がりには、速攻で3点を簡単に決められてしまい、ムードを作れないまま、ノーマークのチャンスはずし、寝屋川は勢いに乗れません。

3点差で後半が始まって、接戦している割にムードが盛り上がり、結局負けてしまいました。

大商学園は波に乗り、その後、枚方高校を破り、中央大会へ進出。次の関西大倉高校にも勝って、決勝戦に臨まれます。

中央進出の壁は、なかなか超えられないけれども、中央を目指せるレベルまで、近づいていると思います。

部員たちと、基本からやり直していくこと、メンタルを強くすることを、決めました。

女子 … 顧問 赤星 明

### 第68回高校秋季総合体育大会(オープントーナメント方式)

8月6~11日

- 2回戦 ● 寝屋川 9 — 32 宣真

### 第65回高校新人大会、兼、第37回全国選抜予選大会

10月13日~

[北ブロック大会・リーグ戦]

- 寝屋川 30 — 3 箕面自由
- 寝屋川 13 — 5 咲くやこの花

[北ブロック大会・トーナメント]

- 1回戦 ○ 寝屋川 11 — 11 刀根山  
7mスローコンテスト 3 — 1
- 準決勝 ○ 寝屋川 13 — 10 北千里

女子の秋季総合大会は、昨年、一昨年とも大阪ベスト4に入り、本年もと、意気込んでいましたが、初戦で宣真高校と当たりました。結果的に、宣真高校が、この大会では優勝しました。



## 寝屋川クラブ会報

試合の前に、「寝屋川は8～10点得点すること。相手を30点以内に押さえなさい。」、1つのチーム目標を、選手たちに伝えました。

私の34年の高体連での戦いの経験上で、これぐらいだと思ったからでした。

相手に32点取られたのですが、よく9点取ってくれたと思いました。

このチームは、夏の合宿から、めきめきと力をつけていました。しかし、1年前ぐらいの時は、本当にヨレヨレのチームでした。160cm代の選手が、いないチーム。

両サイドは149cm、キーパーは全員嫌がって、結局、ジャンプシュートの打てない生徒に、(無理やり?)やらせました。

今のキャプテンが1年前に、「先生、私達本当に強くなれますか?」と、聞いてきたので、「まじめに頑張れば、君たちも先輩たちと同じ、中央大会に行ける。」と、言ったことを、今でも覚えています。

新人戦に向けて、順調に仕上がってきました。

フローターが155cmと156cmなので、「君たちは、守って速攻しか、勝てない!!」と、言い続けた分、スピードが出てきました。

不安だったキーパーも、両サイドシューターも、朝練をまじめにやったおかげで、上達しました。

結果、例年通り、北ブロックベスト4に入る力をつけてきました。トーナメントの刀根山では、練習試合に勝っていたので、選手の中に慢心の気持ちが、出たのかも知れません。

7mスローコンテストで、やっとベスト4に勝ちあがりました。しかし、結果的には、この試合がよかったのかも、しれませんでした。

選手たちは、次の北千里で、よく戦いました。

北千里は本年、近畿大会に出場していました。

力は相手の方が、上だったと思います。

2年生で、大阪の年間優秀選手もいました。

しかし、その選手を、1-5ディフェンスに切り替えて、トップがよく守りきりました。

寝屋川高校が勝った時、終了の笛で、うちの選手ははしゃぎまくり、相手の選手は、泣いていたのを覚えています。

それほど、前日の戦いとでは、大違いでした。

常任委員の先生が、「寝屋川は、昨日と同じメンバーですか? えらいチームが違いますネ」と、言われたのが印象的でした。

これから中央大会、そして、春の近畿大会出場に向けて、頑張っていきたいと思っています。

応援、よろしくお祈りします。

### 新チームの、紹介・抱負

#### 男子キャプテン 2年生 白根 世翔

現在、男子は2年生9人、1年生14人、マネージャー4人(2年2人、1年2人)で、活動しています。

私たち2年生は、1年時から、先輩方の試合に、出場させてもらっていました。

先輩たちの、足を引っ張らないようにと、緊張しながらも、先輩に甘えて練習させてもらったなど、今2年生が主体の練習をしてみ、つくづく感じます。

その先輩方も、春で引退され、1年生の人数に圧倒されながらも、毎日練習に励んでいます。

部員も朝練、昼練と、積極的に参加し、チームとして向上心が高くなってきていると、感じます。

今のチームは、みんなが均等に点をとることが、できます。

夏の大会では、大阪市立・天王寺高校には、勝利しましたが、枚方には、後半追いつかれ、7mスローコンテストで、負けてしまいました。

また、秋の大会でも、大商学園にメンタルの弱さから、練習してきたことが試せないまま、破れてしまいました。

今は、その悔しさで、もっとハンドボールを知りたい、うまくなりたいと、強く思うようになりました。

春まで、長い期間があります。

「近畿大会出場!!」を目標に、身体・メンタルを鍛え、努力していきます。

これからも、声援よろしくお祈りします。

#### 女子キャプテン 2年生 仲野 美乃里

私たちは2年生9人、1年生12人、マネージャー4人の、計25人で、毎日一生懸命、活動しています。

春の3年生の引退試合では、勝つことはできませんでしたが、先輩方はとても強く、私たちに強くなりたいと、思わせてくださいました。

新チームになり、私たちは周りのチームや、歴代の方々に比べ、とても身長が低い集まりです。

ずっと不安で、先生に「私たちも、先輩のように強くなれますか?」と、何度も聞き、そのたびに「しっかり練習すれば、勝てる!」と、おっしゃってくださった言葉を信じ、練習してきました。

夏の秋季大会では、1回戦から宣真高校と当たり、勝つことができませんでしたが、私学のスピードの速さなどを、感じる事ができ、よい経験になりました。

そして、新人戦では、刀根山高校との7mスローコンテストの末、勝つことができ、中央大会に出場することができました。

準決勝の、北千里高校戦でも、苦戦しましたが、勝つことができ、決勝に進むことができました。

私たちは、初心者集まりですが、その分、伸びる可能性がたくさんあると思っています。

今は、試合をすれば、悔しいことばかりですが、25人全員で、一生懸命練習し、近畿大会に出たいです。



### 会計よりの、お知らせ

井上 武久(23期)

会員の皆様には、平素より本会の運営につき、ご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

次掲の、平成25年度(平成25年7月～26年6月)の会費納入のご協力をいただきました方には、あらためて御礼申し上げます。

尚、表は平成25年11月13日現在で作成しておりますので、それ以降に納入の方の未掲載につきましては、ご容赦願います。

今後とも、本会の発展、並びに、円滑な運営を行うため、年会費の納入につきまして、会員各位のご協力を、よろしくお祈りいたします。



払い込みには、同封の郵便振替払込書、又は、銀行振込みでお願いいたします。



# 寝屋川クラブ会報

## ・郵便局利用

口座番号 01100-6-73829

加入者名 寝屋川クラブ

(注) 金額欄には「¥」を書かないで下さい。

この振込用紙には、通信欄もありますので、会の運営に  
対しての、ご意見や近況報告など、お書きください。

## ・銀行振込利用

振込銀行 住友銀行 川西支店

口座番号 普通預金 1011226

口座名義 寝屋川クラブ 井上武久 (イノウエ タケヒサ)

・年会費： 社会人 5,000円

学 生 免 除 (正月、盆サマーハンドへの参加を、  
優先する為の、運用上の特別扱いと  
します。)

27期 渡部安晴

31期 西河英明

41期 安田郁

47期 尾張京子

59期 岩井安寿香 北崎千咲子 古賀景子 泊智佳子

## 会 員 だ よ り

### 3期 中嶋 直彦

#### (赤鹿) 正剛大兄を偲ぶ

正剛大兄の葬儀に、参列した時の、思い出です。  
式順で焼香が始まり、御親族方に続き、故人の御生前の御仕事に  
関係すると思われる方々の、御名前が読み上げられて行きました。  
始めのうちは聞き流しで、そのうち、耳を敏てました。  
それは大兄のお住まい近くの商店街、即ち、振興組合理事長等の  
御名前が続いたことです。

大兄の保険業務を通じての、御関係であったろうと推察します。  
振興組合とは、商店街内の規模の大小はあれ、皆一国の一城の主  
を自負する、商店主の集まりであり、「利」の追求です。  
「利」は「理」であり、「情」に勝るときがあります。  
又、振興組合は、お互いに「共存」よりも「競争」です。  
しかし、大兄は「理」の御仕事を通じて、「よく世話をしてくれ  
る、よく面倒をみてくれる」等、「情」を以って、地域に浸透して  
ゆかれたのではないかと、想像します。

或る時、大兄に言いました。

「貴方のような(情)人が、シビアな保険の仕事がやれますね」  
と。

すると大兄は、ニコッと笑い、「うん、まあな」と、答えてくれ  
ました。

友として、稀有な存在でした。

以上のような思い出とともに、大兄の生前の面影を偲び、哀惜  
の念に耐えません。

(2013.7.22 受)

### 43期 小林 恭子 (旧姓、奥田)

2012年12月版会報に、姉の店「mr、Kanso」を載せていただき、  
ありがとうございました。

私達43期メンバーも、40・41才となりました。

月日の経つのは、本当に早いものですね。

忙しかったり、遠方に住んでいたりで、なかなか再会できません  
ので、年賀状やメールで、近況を報告したりしていますが、近くに  
住んでいるメンバーで、また、集まれたらいいなあと、思います。

#### [2012年12月号再掲]

この場をお借りて、ちょっと、お知らせさせて下さい。

私の姉が、神戸・元町で「mr.kanso」(ミスターカンソ)という、缶詰パ  
ーをやっています。

小さい店ですが、所狭しと色々な缶詰が並んでいて、お酒を飲ま  
なくても、楽しめるかと思えます。

テイクアウトだけでもOKですので、お近くにお越しの際には、ぜ  
ひぜひちらっと覗いてみて下さい!!

〒650-0022 神戸市中央区元町通1-12-7

TEL 090-1589-1989 17:00-Last

[www.cleanbrothers.net/kanso.html](http://www.cleanbrothers.net/kanso.html)

## 平成25年度(2013.7~2014.6月)

### 会費納入者

平成25.11.13現在

3期 睦月欣子 森広洋子 大槻明子 村田芳子

中嶋直彦

5期 松本由紀子 中東義治 樋上重夫

7期 金馬桂子

9期 長澤邦子 大宮淑子

12期 尾亀敬子 中澤三津子 小谷吏佐子

13期 土井利勝

16期 木野実 多賀谷博康

17期 中田順子

18期 木村圭子 谷村千津子 津熊美智子 木村慶次

19期 平井晴美 竹守雅裕

20期 寺西啓三

21期 菊地和代 中西量子 今堀太逸

22期 小森園多恵子 古本まみ 川原誠

23期 井上武久 葛木啓之

26期 地原繁信



## リレー伝言板

### 18期 津熊 美智子

#### 『ハンドボールと私』

同期でリレー伝言版担当の谷村さんに、原稿依頼した先輩方に断  
られた聞き、書くのは苦手の私でも、少しは恩返しできるかと拙い、  
文章をしたためました。

3つ上の姉も、寝屋高生で、先生方や部活動の情報は耳にしてい  
たし、ハンドかバレー、どちらかをしようと思っていましたが、枚  
方三中でバレー部員だった私は、慣れた種目を選び入部。

しかし、3年生が引退される時期にも、1年生は私一人で面白く  
無かった時に、同じ組にいたハンド部員(彼女はGKで、中学校で



## 寝屋川クラブ会報

長沢先生（9期）の指導を受け経験者が、1年終わりで退部）に、誘われて、夏休み前にハンド部に入部しました。

私以外の1年生部員は、近畿大会も経験、四角パスもシュートもしっかり出来て、途中入部の私は落ちこぼれ、最初のランニングで、足を合わせて走る事がまず大変でした。

練習をサボりがちになる私の家に、ある日中野（谷村）さんが寄って、「明日、春日丘高校で練習試合、おいで」と、誘ってくれた事で、初めての試合を経験しました。

何の工夫も無く、軽い気持ちで左サイドから流しの上へ打ったシュートが、2本も決まり、それがきっかけで、真面目に練習に取り組むようになりました。

結構大勢いたメンバーも減って、チームとしてはぎりぎりの人数ではありましたが、1つ上の魚住（深水）さんから、「つーさんは、寝屋川のハンドを背負っていかなあかん」と、励まされ・おだてられ、そうか、背負わなあかんのか・・・、ほんなら頑張らな・・・と、私の心に火がつかしました。

現役の際は、男女を問わず、沢山の先輩方が指導に来て下さってというより、自分達も共に、プレーして下さったものです。

すでに枚方高校へ転勤されていた中出先生には、ハンドのイロハを教わり、お陰様で2・3年生時には、インターハイにも出場できました。

先輩とはこうあるべきとの思いで、私も大学時代や教師としてスタートしてからは、現役の為、又、自分自身の為（全国教職員大会・国体等、その他色々な大会に出場）に、時間の許す限り、練習や合宿に参加しました。

恩師の望月先生は、高体連の仕事が忙しく、技術指導というより、人間としてのあり方を教わった気がします。

中出先生・望月先生・北岡先生には、教員になってからも、全国高体連の研究発表（インターハイ出場ベスト16位以上の選手の、体力の実態と競技適正・・・10年続いた）の一員として加えられ、東京での発表会に、同道させて戴いた事は、私の財産になっています。

在職中は、ただ寝るだけに帰っていた町内でしたが、退職後、自治会長を一年やり、現在は、地域の一員として、牧野小校区コミュニティ協議会の、事務局長をする羽目になって、会議案内文書の作成や配達、行事の度に、役割分担をしたりと、それなりに社会とつながりを持っています。

月に1回ではありますが、和紙千切り絵・和紙くるみ絵の教室にも通い、幾つかの作品もできました。

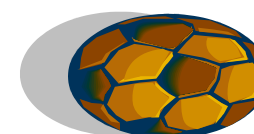
近所には幼なじみの友人もいて、誘われるままに、観劇やコーラス演奏会や、展覧会を楽しんでいます。

年に一度は、高校同期や大学でのハンド同期と旅行したり、また北村（15期、ぶーちゃん）先輩宅には、度々お邪魔しては、ご馳走になったり、共に映画を観たりしています。

楽しく元気で過ごせるのも、ハンドボールつながりの縁でしょうか。

現役の皆さんにも、何か恩返ししないとね。

最後に、次の伝言板引継ぎ者ですが、16期の角先輩、よろしくお願ひします。



### 22期 川原 誠

今回、竹平さん（旧姓、谷垣さん 23期）から、優しかった先輩？ということで、指名を受けました、川原です。

入部の動機は、中学校（寝屋川2中）の1年先輩であり、陸上部の先輩でもあった、岡市さんの勧誘でした。

「どうせ入るなら、1番強いクラブに入った方がいい」、みたいなことを言われて、「そうか〜」と思って、入部したのを覚えています。

また、2年上には、同じ中学校の先輩でもあった寺西さんが、キャップテンをされていて、色々声をかけてもらうなど、環境的には恵まれていました。

とは言え、1年生の1学期は、練習についていくのが精一杯で、家に帰ると「バタン・キュー」と、倒れるように眠りについていました。

勉強どころではなく、そのうち、授業中に力をためて、放課後、クラブボックスで着替えたころから、エンジンがかかるということに、なってしまいました。

もちろん、成績も順調に？、下降線をたどったしいです。

顧問は望月先生で、練習後に「集合」した時には、口に泡をとばしながら、精神論をよく語られていました。

日体のハンドボール時代には、ランニングのときに、必ず外側の列で走り、あえて距離を長くして、人よりたくさん練習したと。

我々の練習に関しては、細かな指示はしないで、生徒の自主性を大切にされていました。

引退した後、3年生の部員5人全員で先生宅にお邪魔し、すき焼きをご馳走になった、思い出があります。

枚方高校に転勤された中出先生も、日曜日など、休日にはよく来てくださり、時には、私たちと一緒に、四角パスやスリークロスの練習をしながら、指導していただきました。

先輩からよく聞かされていた、厳しい姿はなく、いつもニコニコとされ、教え子と一緒にハンドボールを楽しんでおられような、印象すらありました。

先輩方も大勢きて、ハンドボールはもちろん、色々なことを教えていただきました。

思い出を順にたどると、1年生の1学期は平井さん（13期）が4時ごろになると、背番号14番のユニホームを着て、グラウンドに連れられました。

4時が近づくと、みんな緊張しはじめ、校舎沿いにノッシノッシとゆっくりした足取りで、ハンドボールコートに歩く姿を目撃すると、背中に冷たいもの？が、はしるような緊張感に襲われたのは、私だけだったのでしょか。

でも、その厳しい練習のおかげで、技術的にも精神的にも、強くなれたと思います。

加堂さん（14期）も、よく来ていただきました。

時々、大阪教育大学の部員を引き連れて練習したり、紙上では公開できないような？、奥さんとの、のろけ話を聞いたり、差し入れをもらったり、ハンドボール以外のことも、色々教えてもらいました。

現在でも、現役を教えにいつておられるようで、その情熱には頭が下がります。

1年生から2年生にかけての春休みには、大西さん（16期）が1ヶ月間、毎日コーチとしてきてくださり、技術だけでなく、ハンドボール理論を、手製のテキストで教えていただきました。

「頭で考える練習」は、ある意味「目から鱗」でした。

また、桜台高校との試合のエピソードなども聞き、「勝っていたら、ハンドはやめていた。負けたので、大学で続けようと思った」という話が、印象に残っています。

また、大学受験でも、大変お世話になりました。

多賀谷さん（16期）が、関西大学のハンドボール部員を引き連れて、練習に来られたことがありました。

男子・女子両方のコート一杯に、総勢100人ぐらいが、大声で声を出しながらの練習風景は、今思い出しても、圧巻の風景でした。

その他、ほんとうに、たくさんの先輩方にお世話になったことを、この場をかりてお礼申し上げます。

ちょっと堅苦しくなりましたが、最後に22期のことについて書きます。

男子部員は10人を超えたこともありましたが、色々な事情で最終的には、宮崎・福井・小堀・糸永・川原の5人となりました。

最大の思い出は、学校で行った夏の合宿です。



## 寝屋川クラブ会報

早朝ランニング、午前の練習、午後の練習、夜のナイター練習。ナイター練習では、先輩と試合をするのですが、まるで歯がたたない。（その当時は、木野さん、北村さん、大西さんなど世界選手権出場組みをはじめ、そうそうたるメンバーが、活躍されていたころでした。）

試合の後、練習の締めとして、グラウンド10周。

合宿が終わった後の、校歌斉唱は感動的で、まさに「青春」でした。

普段は練習が終わると、5人で裏の校門から出たところあった、「おばちゃん」の店でパンを食べ、チェリオの大瓶を飲みほして、駅まで雑談しながら帰っていました。

これも「青春」のひとつまで、いい思い出のひとつです。

試合では、最後の試合が、印象に残っています。

相手は、枚方高校。

枚高のキャプテンは、中出君（中出先生の息子さん、お兄さんは、寝屋川高校ハンド部の20期で2年先輩）で、どちらも、負けたら引退という試合でした。

前半は、宮崎のロングシュートと、キーパー糸永の活躍で、1点差で勝っていましたが、後半は、枚高の入江君の活躍で、逆転負けしました。

枚高は、その後勝ち上がり、インターハイベスト8までいきました。

枚高は、翌年にインターハイで優勝し、黄金期を迎えます。

私事ですが、そのインターハイ優勝メンバーの一人に、私の弟がいます。

兄の果たせなかった夢を、弟が実現してくれた？、とも言えますが、ちょっと複雑な心境でもあります。

1年下の23期は、葛木君を中心に強かったですから、リベンジしてもらいたかった・・・。

ということで、次号は1年下23期、華麗なサイドシューター、杉本君を指名します。



### 34期 荒木 克洋

同期の安田さんから、バトンを引き継ぎました、34期の荒木克洋です。

卒業から30年以上過ぎ、娘が今年から高校生なのを考えると、時の流れを感じますね。

私は、中学では運動をしておらず、高校ではぜひ、体育系のクラブにと、考えていました。

鉄棒やマット運動が得意だったので、器械体操部に入ろうと思っていましたが、体育館へ数日行っても、体操部の練習はなく、同クラスの清水英男くんに誘われ、ハンドボール部に入部しました。

入部後、2年先輩に国体選手（岩本さん）はいるし、数年前までは、中央大会・近畿大会の常連で、OBにはオリンピック選手もいるとわかり、えらい大変なクラブに入ったと思いました。

ハンド部の練習はきついが、我々の代の男子は、12〜3名おり快適に過ごせたので、そのまま卒業まで、居ついてしまいました。

高校1年の夏ごろまでは、とにかく体力がなく、ついていくのが精いっぱいでしたが、だんだん体力もついてきて、試合も楽しめるようになってきました。

我々の代は、レベルがそろって、スター選手はいなくても、チームワーク良く、勝てたのではと思います。

3年になる直前の春、三重県の、四日市工業や桑名高校との合同合宿で、実業団女子のジャスコと練習試合をしたのが、とても思い出に残っています。

ジャスコは当時、実業団女子1部リーグ優勝候補で、レギュラー陣も数名出てきたので、とても歯が立たないと思いましたが、なんと、引き分けることができました。

あの時は、北岡先生にとっても喜んでいただいたのを、覚えています。

3年生春のインターハイ予選は、中央大会出場が目標で、東地区予選に臨みましたが、油断したのか、1回戦で負ける相手ではない、淀川工業に負けました。

敗者復活戦で勝てば、まだ望みはあるので、なんとか勝ち進みましたが、最後の1試合に勝てば、ベスト4で中央大会に行けるところで、三島高校と当たりました。

三島高校は、1学年下に、中学での経験者が数名入部し、どんどん強くなって、前年秋ごろから、練習試合で勝てなかったのです。

直前の春休みの練習試合で、確か最後5分あたりまで、僅差で勝てると思ったのですが、サイドから私がパスカットに出た裏をかかれて、シュートを決められ、逆転負けしました。

個人的にその時の悔しい経験から、何とか勝ちたかったのですが、善戦むなしく、負けてしまい、中央大会への出場は、なりませんでした。

大学では、ハンドボールを続けるか、悩みました。

入学した大学は、関西1部リーグに所属し、強豪との対戦についていけるか、不安だったのと、器械体操への未練が残っていたので、

結局は、器械体操部に入部しました（誘っていただいた相良さん（31期）、足立さん（33期）、同期の宮坂くん、ごめんなさい）。

器械体操でも、新しい出会いや思い出があり、ソウルオリンピックに出場した、西川大輔選手、池谷幸雄選手が、中学生の時の試合の審判の、アルバイトをしたこともあります。

寝屋川高校の器械体操部の練習に、お邪魔してから、ハンドボールの練習に顔を出すこともあったので、3年後輩の、器械体操部の谷口くんが、同じ大学に入ったのを見つけ、入部させることもできました。

大学卒業から就職で、今の愛知県に移り住んだので、もう人生の半分は、愛知で過ごしていることになります。

愛知県は、大同特殊鋼・トヨタ自動車など、ハンドボールの実業団があり、中学・高校でもハンドが盛んで、会社の人と、ハンドボールの経験談を話すこともあります。

3年ほど前に、小学生クラブチーム全国大会を、男女アベックで制覇した、東海ハンドボールスクールに、姪が所属していて、近くで練習試合があった時に、見に行きました。

とても動きがシャープで、パス回しも上手く、小学生なのに、自分が高校生でもついていけないと、思いました。

いま、身近な運動は、ランニング程度が精いっぱい、ハンドボールは、見るだけですが、OB会報で、現役のみなさんの活躍を読みつつ、陰ながら応援していきたいと、思います。

さて、次回のリレーについては、2年上の先輩で、国体にも出場された岩本さんの、経験談を、お聞きしたいと思います。

もしくは、同期の宮坂さん、または、河江さんの近況と、懐かしい話を聞きたいと思います。

### 43期 武貞 綾（旧姓、中町）

43期「かりん」こと、武貞 綾(旧姓 中町)です。

皆様、はじめまして、もしくは、御無沙汰しております。

毎号、会報、拝読しておりました。

事務局の皆様、いつもありがとうございます。

今回、ご依頼頂きましたので、近況と、だんだん薄くなりつつある、ハンド部の思い出を、書かせて頂きます。

大学卒業後、海外に行ったり、就職したり、転職したりを経て、結婚し、現在、小学生2人の子をもつ、主婦です。

結婚後は、転居が多く、現在5か所目のすまいで、神戸市に住んでいます。



## 寝屋川クラブ会報

神戸に住むのは、2度目で、大阪からすぐの所なのに、海からの風のせい、大阪に比べ、夏が涼しく過ごしやすいです。

平日の昼間は、短時間パートで働いたり、土日は、上の娘（小6）とテニスに行ったり、下の息子（小4）の卓球の練習の送り迎えや、試合の応援に行ったりといった、日々を過ごしています。

フルセット、デュースの末負けてしまった、息子の卓球の試合などで、息子に対し、「自分が苦しいときは、相手も苦しい!」、「競り合いの時に、日頃の練習が出る」などと、北岡語録よりコメントしてしまい、嫌がられたりしています。（北岡先生、使わせてもらっております）

私が入部した、当時の女子ハンド部は、中央大会はもちろん、近畿大会も常連で、2学年上の先輩は、中国に遠征に行くような、まさに強い、伝統ある部として有名で、入学当初から、「女子ハンド部は、すごいらしい」と、うわさで聞いていたにもかかわらず、恐れ多くも、同じ中学出身の「ちゃお」（西村友里さん）と、「みっきい」（栗野美樹さん）と、一緒に見学に行き、そのまま入部してしまいました。

中学では軟式テニス部だったので、団体競技にちょっと憧れもあり、また、1学年上の先輩が、マネージャーさんも入れて4人と、少なかったので、結構すぐに試合に出してもらえるかな??といった、本当にあまーい考えからの、入部でした。

それからは本当に、暑い日も寒い日も、練習・練習でしたが、だんだん上達していくのが面白く、また休憩時間にみんなで、どうでもいいような話で盛り上がり、とにかく、毎日楽しかったです。

ただ2年生になって、ブロック大会で勝つことができないまま、先輩方が引退され、私がキャプテンを引き受けることになってからは、後輩もたくさん入部してきて、チーム内で紅白戦ができるくらい、人数もそろい、北岡先生、高尾先生と2人の先生の指導も受けて、恵まれた環境になっていたにもかかわらず、「勝ちたい」というよりは、「勝たなければ」になっていき、なかなか良い流れにもっていくことができず、大事な試合で力を出し切れずで、結果、中央大会に、一度も出場できないまま、引退となってしまいました。

キャプテンとしては、本当に、みんなに「ごめんなさい」という、感じです。

結論ではありますが、けが人も常に多かったし、あまり結果にばかり捉われず、日々楽しく、短時間でも集中して充実した練習時間にするように、心を砕くことが、自分の役割だったんだろうなと、今だから、言えることではありますが、思います。

ただ、私個人としては、当時ハンドボールで体をしっかり鍛えたからこそ、ついた体力や、滅多に傷まない頑丈な体が、足りない自

分を補い支えてくれているとも、感じるし、また、近夏、久しぶりに同期のうち、5人で集まる機会があったのですが、「久しぶり!」の後は、当時の体育館前での休憩時間とほぼ変わらない感覚で、バカ笑いして話せる友達を持てたということが、本当に財産になっているなど、感じます。

現在、大阪在住は、同期9人のうち1人になっていますが、それぞれの場所で、みんなたくましく生きているようで、とても励みになります。

来年こそは、ぜひぜひ9人で集まりたいなど、思っています。

今回は、いつも明るく元気だった、44期 岡 和美さんか、柔軟のペアで、マッサージ上手だった、44期 辰巳 常代さんに、お願いできればと思います。



### 57期 小鳥 弘記

同期の朝倉さんから、バトンを受けたので、書かせてもらいます。

寝屋川高校を卒業してから、もうすぐ9年が経過しますが、高校時代の思い出というと、やっぱりハンドボールが一番で、年2回のOB会報を、いつも楽しみにしています。

またOB会報で、現役生の状況を見るたびに、現役生は、人数が多くて羨ましいなど、いつも思っています。

私が在籍していた、10年ほど前のハンド部は、とてもマイナーな部活で、私の代は4人しかいませんでした。

1つ上の56期生が3人、1つ下の58期生は4人だったので、2学年合わせて、7人揃えるのが、やっとな時代でした。

当然、レギュラー争いなんてのも、無縁で、幸運なことに、入部から引退まで、全ての試合に、レギュラーとして出ることができました。

ということで、せっかく(?)人数が少なかった代なので、今回は、同期の3人について、書いてみようと思います。

まずは、平田から。

平田は、同じ中学の出身でしたが、中学時代に話したことは無く、高校入学後も「マイナーなハンド部に、4月にたった1人で入部した、変わり者」、くらいの印象しか、ありませんでした。

そんな平田も、なかなかポストプレーヤーで、体の入れ方も上手いし、ここぞというところで、よく点を取ってくれた、記憶があります。

お互いに、頑固な性格で、一番ケンカした相手でもありますが・・・、それも、いい思い出です。

次に、栗林。

栗林は、少し遅れて、1年の11月頃に、入部してきました。

他の某運動部からの、転部、かつ、待望の左利きということもあり、大きな期待をもって受け入れられ、早速サイドをやってもらいましたが、残念ながら、サイドの才能は無く(笑)、56期生の引退後は、キーパーに転向しました。

せっかくの左利きが、キーパーかと思ったものの、これが結構うまいことはまって、あまりみんなやりたがらなかったキーパーを、最後までよくやってくれました。

最後に、キャプテンの大森。

そもそも、私がハンド部に入ったのも、1年の6月に、当時同じクラスだった大森に誘われたことが、きっかけでした。

私も、なんとなく、運動部に入りたいと思っていたので、入部を即決し、翌日には、早速2人揃って、入部届を出しに行ったことを、覚えています。

温厚な栗林はさておき、私と平田の扱いには、特に苦労したかと思いますが(笑)、プレーはもちろん、ハンド部のキャプテンとして、チームをよく引っ張ってってくれたなど、思います。

と、まあ、褒めるのはこのくらいにしておいて・・・(笑)、人数は少なかったですが、同じく4人しかいなかった58期生も含めて、チームとしてはよくまとまっていたと、思います。

2年秋の公式戦で、男子ハンド部として、公式戦で数年ぶりに勝利して以降は、練習試合でも、負けることも少なくなり、あの時期が、一番楽しかったですね。

結局、3年春の最後の試合は、7mスローを外して、負けてしまいました・・・、当時はマイナーなハンド部に、引け目を感じたり、練習が嫌だと思ったことも、いっぱいあったはずですが、不思議なもので、今となっては、いい思い出ばかりです。

顧問の大森先生や、同期の3人はもちろん、56期生の先輩方や、58期生の後輩達にも、本当に感謝しています。

最後に、私の近況をお伝えすると、大学卒業後は某メーカーに就職し、入社以来、東京で働いてきましたが、この11月より、アメリカへの転勤が決まり、今後しばらくの、海外生活となります。

場所は、アメリカ南部テネシー州ナッシュビルという、都市です。しばらくは、OB会に、顔を出すことも叶いませんが、地球の裏側から、現役の皆さんの活躍を願っています。

それでは、次回のリレー伝言板ですが、何かとコンビを組むことが多かった、58期生の坂井君に、お願いできればと思います。





## 64期 杉江 克矢

こんにちは。

64期男子ハンドボール部の、ゴールキーパーをしていました、杉森です。

リレーということで、あまりおもしろいことは書けないですけど、63期の山里さんがまわしていただいたので、頑張っ書いていきます！

この原稿を書くテーマで、現役時代の思い出とか、ハンドボールに対する思いとか、色々与えてもらっているんですけど、こういうことは、もっと熱い思いを持っている人がいると思うので、自分は、もうちょっと違うことを書きます。

自分が、ハンドボール部に入ったのは、特にハンドボールがやりたかった訳でもなく、新しいスポーツを試してみたいという理由で、入りました。

1年生で、まだ何も分かってないまま、62期の先輩方が引退してしまって、やっと合宿あたりで、しっかりハンドボールしてって、感じがしてきました。

その辺りから、何人かが辞めてしまったりもして、最初は64期だけで、6:6とか、試合が出来たのが、先輩や後輩に入ってもらわないといけなぐらい、少なくなっていました。

ただ、逆に、そこまで少なかったから、今でも、みんなが自分たちのことを、仲良いうて言えるぐらいの、チームになれたと思います。

もちろん、現役の時から、先輩や後輩、特に63期の先輩方には、色々なことを教えてもらったり、ふざけて笑わせてもらったり

(ゆきおさんと、りょうすけさんの絡みが、大好きでした笑)、今思い返しても、ありがたいと思えるようなことばかりでしたが、寝屋川高校ハンドボール部に入って、一番良かったって思えることは、やっぱり64期のみんなと、同じチームになれたことと、思います。

普段、話しているときは、普通に恥ずかしいし、絶対言うことなかったけど、いい機会なので言っときます。

青木、たむ、野尻野、湯川、森、中林、中川、たーていん、よね、向井、大好きです。

今までっていうか、今でも、他の人が書いたリレー伝言板を見たことがないので、こんなのでいいのか、全く分からないですけど、とりあえず次の人は、絶対もっと良いことを書いてくれると思うので、楽しみにしててください！。

では、少し短いですが、64期の杉森でした。

次は、できるだけ男女交互ということなので、自分が唯一まともに話が出る、64期嶋戸さんで、お願いします！

## 64期 青木 達哉

僕たちの代である64期は、加堂さん(14期)をはじめ、赤星先生、堀川先生に、大変お世話になった代でした。

普段の練習は、顧問の先生を見てもらえば、分かると思うのですが(笑)、大変厳しかったです。

ただ、僕の場合、中学時代は、不良の吹き溜まりのような野球部に入っていて、普通の練習をしたという覚えが、ありませんでした。

なので、部員みんなで目標を持って、練習できるのは、とても嬉しく、普段の練習が、苦に思ったことは、ありませんでした。

ただ、ミスが連続して起こったときに、一度だけ、縦横無尽にコート内を、ウサギ跳びさせられたことがあったのですが、あれは、本当にきつかったです。

部員全員が、一週間、筋肉痛になったのは、後にも先にも、この時だけでした(笑)。

また、もう一つ、特筆すべきは、怪我の多さだと、思います(笑)。剥離・疲労・外傷骨折、半月板損傷、靭帯損傷、靭帯断裂、そして、交通事故にあう人など、よくまあ、こんなに怪我をするなど言うくらい、していたような、気がします(笑)。

引退の時期には、センターが骨折していたため、ポストがセンターに、そして、サイドの僕が、ポストをすることになりました。

そして、怪我が完治していなかった45度は、1つ下の後輩と交代しながらという、状態でした。

不慣れなポジションということで、ミスや連携の不具合などが起こり、中央大会まであと一歩というところで、負けてしまいました。

今でこそ、みんなで笑い話にしていますが、当時は「あの時、ミスをしていなかったら」、「あの時、怪我がなかったら」と、思ったものです。

なので、現役の高校生たちには、そんな思いはしてもらいたくないので、怪我だけは、しないでください。

当事者ですが、チームメイトにも、大きな負担となり、後悔すること、間違いなしです。

最後に、今年こそ、男子は中央大会出場、女子は近畿大会出場できるように、応援しています。

是非、悔いのないように、頑張ってください。

大学入学後は、部には入らず、寝屋川市の中学生を対象とした、ハンドボールコーチをOBたちでしたり、63~65期のOBたちによる、社会人ハンドボールチームでの活動を通して、今もハンドボールに携わっています。

教えるのと、教わるのでは、こんなに違うのかと思いながら、毎回、学ぶことも、多いです。

また、社会人の方では、11月に豊中市で行われる大会に出場するのですが、全く練習できていないため、どうなるか、少し心配しているところです。

次は、同期の女ハンの北村 果奈さんに、書いてもらおうと思いません。



## 63期 藤澤 美穂

### 『教育実習を終えて』

私の通っている大学の制度上、通常は4回生で行くところを、3回生で教育実習へ行かせてもらいました。

しかし、体育科では、一度の教育実習で男女1人ずつまでのため、前期に62期の西先輩、後期に私が行くことになりました。

そして、他の教科の教育実習は2週間、体育科は3週間のところ、寝屋川高校の体育科は4週間という倍の期間だったので、同級生の居ない教育実習どころか、教育実習生が他にほとんど居ない、教育実習でした。

そんな実習中、私はハンドボール部という繋がり、とても支えられました。

実習が始まる前に、西先輩には話を聞かせてもらい、送り出してもらいました。

数少ない教育実習生の1人である、61期の大波田先輩には、会う度に励まし、元気づけてもらい、男子ハンド部のマネージャーとは、よく何気ないやりとりを交わして、笑わせてもらいました。

ほとんど、部活を見に行くことが出来なかった中、後輩たちは、授業中も元気に協力してくれて、最後には、お菓子の箱などにメッセージを書いたものをくれました。

本当に嬉しくて、思わず涙がこぼれました。

ちなみに、もらったメッセージは切り取って、大切に保管してあります！！



赤星先生は、顔を合わす度に、「大丈夫か、元気出せよ！」と、声をかけてくださり、最初から最後まで、本当にご心配をおかけしました。

他の先生方には話せないことでも、赤星先生なら話せた部分もあり、心の支えでした。

ありがとうございました。

そして、指導教官であり、現男子ハンド部顧問、女子ハンド部OGでもある堀川先生！、私が現役の頃は、他校女子ハンド部の先生で、OB・OG会で顔を合わす程度しか関わりがなく、厳しい先生という、噂を伺っておりました。

先生、すみません。

噂通り、厳しかったです。

ただ、思っていてくれるからこそその、厳しさであり、厳しさの中にある優しさが、本当に身に染みしました。

自分の仕事は終わっているのに、夜遅くまで付き合ってください、何度も何度も、同じ指導をさせてしまう私を、見放すことなく、最後まで指導して下さったのは、優しさがあつたからこそだと、思っています。

厳しかったことは否めないですが、私は、堀川先生が指導教官で、本当によかったと、思っています。

ありがとうございました。

4週間という、長いような、短いような期間でしたが、自分の中で、本当に大切な時間になりました。

引退・卒業した時にも、寝屋川高校でよかった、ハンドボール部に入部してよかったと、思いましたが、教育実習を終えて、改めてそう思うことが、出来ました。

これから、大学も忙しくなりますが、これを機会に、同期や先輩・後輩を誘って、また、部活に顔を出しに行きたいなど、思います！



①「リレー伝言板」では、会員の皆さんを大体10年単位で8グループに分けて、OB・OGの皆様に近況やハンドボールへの思い、現役の時の思い出等を自由に語っていただき、同期、先輩、そして後輩へリレー形式でつないでもらっています。

②また、掲載された内容についての感想、コメント等（字数制限なし）を、OB・OG会メールアドレス kanri@neyagawahandball.net、又は、同封の返信用封筒（事務局・20期寺西）で、お寄せくださ

い。  
会員の皆さんに紹介をし、会員相互間の親睦の輪を広めていきたいと思っています。  
③次回は、あなたが指名されるかも…。（記事で、次回指名された方には、後日会報発行前にOB・OG会事務局より、依頼連絡させていただきます。）  
是非この伝言板を利用して、なつかしい方々へ、あなたの熱いメッセージをお送りください。



### < 編集後記 >

- ①近年、マスコミで掲載されるサッカーの記事は、目覚ましいものがありますが、数少ないハンドボールの話題として、16期生 大西武三様（元日本ハンドボール協会専務理事、筑波大学名誉教授）が運営されています、下記協会のホームページに、ハンドボールの技術に関する掲載があります。  
大西様からも、「今後、質問のコーナーを作り、答えていくようにしようと思っていますので、現役を始めとする皆さんで、わからないことがあれば、質問してください。」と、コメントいただいています。
- ②来年 2014 年は、午年で、2 月には冬季オリンピック、6 月にはサッカーワールドカップ（ブラジル大会）があり、又、日本中が興奮することでしょう。  
ハンドボールも、2020 年の東京オリンピック開催が決定し、身近に世界的レベルの試合が見られるのが、楽しみです。

- ③住所・氏名・電話の変更・訃報等がありましたら、会報に同封の会員日より、返信用封筒（費用受取人負担）、又は、下記メールアドレス事務局まで、ご一報ください。

<事務局> 寺西 啓三 (20期)

〒573-0013 枚方市星丘 4-12-8

メールアドレス kkteranishi@yahoo.co.jp

TEL 090-5887-8777 FAX 072-849-7237